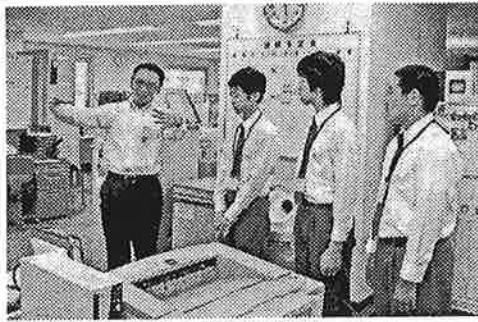


2009年(平成21年)9月3日(木曜日)

中学生が職場体験

大豊建設
東北支店
ゼネコンの仕事紹介



大豊建設東北支店(大隅健一執行役員支店長)は2日、建設業に興味を持つ秋田県湯沢市立皆瀬中学校の2年生3人(遠藤祥平君、小南俊紀君、中山良太君)から職場体

験の依頼を受け、支店内や建設作業所を案内、ゼネコンの仕事を具体的に紹介したII写真。

同中学校では、社会学習を積極的に行っており、今回は2年生33人が仙台市内の企業を対象に職場体験するという企画の一環で実施。建設会社での職場体験を希望した3人の生徒は、インターネットで受け入れ企業を探し、「雰囲気良さそうだったので大豊建設を選んだ」という。

職場体験では、オフィ

ス内をめぐり、総務部の仕事、工事部の仕事、営業部の仕事について説明を受けた。

中学生からは「大豊建設の社員になるにはどうすればいいのかわからない」「仕事をしたいけど、難しいこと、つらいことは」「会社名の由来は」といった質問が担当者に投げかけられた。

オフィスで大隅支店長も応対し、「しっかりと勉強して行ってください」などと声をかけた。

オフィスツアー後は、大豊建設が施工を担当する土木工事を見学。急ぎ足だったが、1日ばかりでゼネコンの仕事の多くを学んだ。

2009年(平成21年)9月24日(木曜日)

「協力する大切さ」あらためて実感

「協力することの大切さをあらためて知りました」。今月2日、職場体験の一環で大豊建設東北支店を訪れた中学生から、同社にこのような内容の「お礼の手紙」が届いた。手紙では、「建設会社がほかの会社と協力して進めていることを知ることができた」とつつづられており、初めて触れた建設の仕事が、1社単独ではなく、他社とのチームワークで成り立っていることを実感したようだ。

同社の職場を体験したのは、秋田県湯沢市立皆瀬中学校2年生の遠藤祥平君、中山良太君、小南俊紀君の3人。担当者に建設作業所を案内してもらいながら、ゼネコンが手がける仕事を学んだ。

今回届いた3人連名のお礼の

職場体験の中学生が大豊建設に「お礼の手紙」

手紙では、建設の仕事がさまざまな会社と協力して行われていることに加え、「人に接するときには、誠意を持つことが大切であることを知ることができた」としている。

また、「わかりやすく説明いただいたり、現場をみせていただいたりして、とても勉強になった」(遠藤君)、「緊張したけど、しっかりと集中して職場体験でき、大豊建設のことも知ることができた」(小南君)など、今回の体験を通じたそれぞれの感想を寄せ、「ますます建築系の仕事に就きたいと思うようになった」(中山君)と建設会社で働くことへの意欲も示した。

職場体験の内容について生徒たちは現在、全校発表に向けた準備を進めているという。

2009年(平成21年)9月24日(木曜日)

「建築系の仕事につきたい」

「(職場体験から)大訪れた中学生3人から、切なことをたくさん知る 大豊建設東北支店(大隅)ことができました」。健一支店長)に感謝の手紙が届いた。手紙には

拝啓 夏も終わり、秋の季節が感じられるようになりました。先日は大変お忙しい中、僕たちの職場体験学習のために、いろいろとお世話いただきました。ありがとうございます。

初めてなのでとても緊張していましたが、事業所の方にやさしく接していただき、緊張も和らいできました。

建設会社以外の会社と協力して作業を進めることや、人と接するときには、誠意などもって接することなど、大切なことをたくさん知ることができました。

私たちが、全従業員に向けて準備をがんばっています。これから実働となりますが、がんばらねかせませんよう。お元気でお仕事がんばってください。

九月九日
大豊建設東北支店 従業員 健一

仙台 仙台 仙台
仙台 仙台 仙台
仙台 仙台 仙台
仙台 仙台 仙台

中学生から感謝の手紙 — 大豊建設で職場体験 —

「協力して作業を進め 生徒が自らインターネッ トなどで建設企業を調べて人と接する」大切 索し、「職場の雰囲気 良さそう」と同社を選び、 3人の中の1人、中 電話で交渉し、同支店も 山良太君の手紙は「まず 「建設産業発展の一助に ます建築系の仕事につき たいと思えました」と締 めくくっている。

職場体験には、建設産 業への就職を志す秋田県 湯沢市立皆瀬中学校の男 子生徒3人が、同支店 を傾け、現場を体験する (仙台市青葉区)を訪れ ことで、建設産業への理 解と知識を深めた。